

トリニダード・トバゴ月間情勢報告 (2024年8月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

8月のトリニダード・トバゴの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 概況

- TTの石油会社 Lease Operators 社は、Trinity Exploration & Production 社を総額約2,640万ポンド（1株当たり0.6805ポンド）（約3,379万米ドル）で買収。
- ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）は、2024年のTTの経済成長率を2.4%と予測。
- 2024年3月末時点の遺産安定化基金（HSF）の純資産総額は58.98億米ドルとなり、過去4年間で最高水準となった。
- bpTT社とTTのEOG Resources 社は、ココナッツ・ガス田開発事業において50%ずつ出資することで合意。両者により同事業の最終投資決定（FDI）は既になされており、最初のガス供給は2027年になる見込み。
- トバゴ緊急事態管理局（TEMA）は、6月30日～7月1日にかけて通過したハリケーン・ベリルによるトバゴ島の復興費用は59.2万TTドル（約8.7万米ドル）に上ると発表。
- マルゲリータ・インド外務省付大臣はTTを訪問し、ローリー首相及びブラウン外相とそれぞれ二国間会談を実施。両国は相互の外交使節団・領事館職員の扶養家族の雇用許可に関する協定に署名。

2 内政

- （21日報道）エネルギー産業省は、2月にトバゴ島沖合で転覆し座礁した船舶「ガルフストリーム号」が離礁に成功したと発表。現在、同船舶は座礁場所から約3海里離れた場所に固定されており、今後潜水調査を行った後トリニダードの首都ポート・オブ・スペインまで曳航される予定。
- （22日、23日報道）保健省は、2024年のデング熱感染者数は現時点で累計911名、死者は9名確認されたと発表。
- （28日報道）野党統一国民会議（UNC）が分派し、新政党「Unity is Power」党が結束。

3 経済

- （１日報道）ＴＴで開催された大西洋貿易投資シンポジウムにおいて、ゴピンスクーン貿易・産業大臣は、２０２３年の同国の対アフリカ輸出総額は２３億ＴＴドル（約３．３６億米ドル）、輸入額は２．６１億ＴＴドル（約３，８００万米ドル）であったと発表。
- （３日報道）ＴＴの石油会社 Lease Operators 社は、Trinity Exploration & Production 社を総額約２，６４０万ポンド（１株当たり０．６８０５ポンド）（約３，３７９万米ドル）で買収。
- （８日報道）米国国際開発庁（ＵＳＡＩＤ）は、カリブ公衆衛生庁（ＣＡＲＰＨＡ）に２万米ドル相当のアルボウイルス検査キットを寄贈。
- （１４日報道）ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ＥＣＬＡＣ）は、２０２４年のＴＴの経済成長率を２．４％と予測。ガイアナを除くカリブ地域全体の成長率は２．６％と見込まれている。
- （１５日報道）農家の生産能力向上や新技術の導入、気候変動に対応したシステムの導入を支援するべく、農業・国土・漁業省は、農家に最大１０万ＴＴドル（約１．５万米ドル）の助成金を提供すると発表。
- （２７日報道）２０２４年３月末時点の遺産安定化基金（ＨＳＦ）の純資産総額は５８．９８億米ドルとなり、過去４年間で最高水準となった。
- （２７日報道）bpTT 社とＴＴの EOG Resources 社は、ココナッツ・ガス田開発事業において５０％ずつ出資することで合意。両者により同事業の最終投資決定（ＦＤＩ）は既になされており、最初のガス供給は２０２７年になる見込み。
- （３０日報道）トバゴ緊急事態管理局（ＴＥＭＡ）は、６月３０日～７月１日にかけて通過したハリケーン・ベリルによるトバゴ島の復興費用は５９．２万ＴＴドル（約８．７万米ドル）に上ると発表。

４ 外交

- （７日、２７日報道）松原駐ＴＴ日本国大使は、本年度の外国語青年招致事業（ＪＥＴプログラム）参加者の壮行会を開催。
- （２３日外務省発表、２４日及び２５日報道）マルゲリータ・インド外務省付大臣はＴＴを訪問し、ローリー首相を表敬。インドからは、２０１７年４月以来の閣僚レベルの訪問となった。また、外務省で国旗掲揚式が実施された他、ブラウン外相と、ＤＸ、保健、農業、スポーツ、文化交流等相互の関心分野に関する協議が行われた。さらに両国は、相互の外交使節団・領事館職員の扶養家族の雇用許可に関する協定に署名した。